



福岡医発第 919 号 (地)
令和 6 年 6 月 20 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

「こどもの夏かぜ」に関する予防啓発について

今般、福岡県保健医療介護部より、子どもを中心に主に夏季に流行する手足口病やヘルパンギーナなどいわゆる「夏かぜ」については、例年、5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎える感染症であることから、来院者等に対し別添リーフレットを用いた予防啓発について依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

公印省略

6 疾病第 1 0 7 0 号
令和 6 年 6 月 1 8 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部
一般社団法人福岡県精神科病院協会

殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)

「こどもの夏かぜ」に関する予防啓発について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、子どもを中心に主に夏季に流行する手足口病やヘルパンギーナなどいわゆる「夏かぜ」については、例年、5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎える感染症です。

つきましては、貴会会員に対し、別添リーフレット等を活用した来院者に対する予防啓発への協力について依頼をお願いいたします。

－問合せ先－

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
感染症対策係 長藤

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園 7－7

TEL : 092-643-3597 FAX : 092-643-3331

Email : nagafuji-n0428@pref.fukuoka.lg.jp

こどもの夏かぜに注意しましょう

夏かぜとは？

夏にこどもを中心に患者数が増える感染症の総称で、以下に示す感染症が主なものです。

例年、5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎えますが、新型コロナの発生以降、流行時期が変化しています。



	咽頭結膜熱 (プール熱)	手足口病	ヘルパンギーナ
主な症状	高熱(38～39℃)、咽頭炎、結膜炎	口の中、手のひら、足の裏などの水疱発疹、発熱、大人が感染した場合には痛みが強くなることが多い。	急な発熱(高熱)、口の中(奥)にできる水疱(痛みで食欲不振になることあり)
原因ウイルス	アデノウイルス	コクサッキーウイルス、エンテロウイルス	コクサッキーウイルス、エコーウイルス
感染経路	●飛沫感染 患者のくしゃみや咳に含まれるウイルスを吸い込むことによっておこる。 ●経口感染・接触感染 水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手指やタオル等を介して、口や目に入ることによっておこる。		
潜伏期間	5～6日	3～6日	2～4日

感染を予防するためには

- 手指は石けんと流水でよく洗う。
これらのウイルスはアルコール消毒が効きにくいため、石けんと流水で手を洗いましょう。
症状がおさまった後も2～4週間程度は、便などにウイルスが排出されています。普段からトイレの後、おむつ交換の後にはしっかりと手洗いをするのが大切です。
- タオルの共用はしない。
タオル等からの接触感染によりひろがります。症状がある場合には、自宅でもタオルなどを共用しないよう注意しましょう。
- 咳エチケットに努める。
症状がある場合はマスクを着用するなど咳エチケットに努めましょう。



手を洗おう



マスクをしよう

感染症の発生動向については、左のQRコードから福岡県保健環境研究所のホームページをご覧ください。

福岡県 感染症 発生動向

検索

福岡県